

岐阜県の森林・林業

森のたより

森の楽園(生活環境保全林「文殊の森」)で
自然とふれあいませんか

No.792
2019 September

9

FREE

ご自由に お持ちください。



●生活環境保全林「文殊の森」(本巣市)は街に近く、森林浴やパード
ウォッチングなど四季折々の豊かな自然を満喫できます。

編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会

E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp

<http://www.g-forestry.or.jp> (公社)岐阜県山林協会の情報をご覧いただけます。

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所 申込(問合せ)先/TEL
9月1日(日)~ 10月31日(木)	緑の募金(秋期)	「緑の募金で進めようSDGs」をスローガンに秋の緑の募金を行います。	公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 TEL 058-273-7577 FAX 058-273-7547 E-mail gifu-ryokusui@mtj.biglobe.ne.jp
9月28日(土)	狩猟免許試験	狩猟免許取得のための試験を実施します。 ●時間: 9:30~17:00 ●申込: 8月30日(金)~9月13日(金) ※事前に申請書類等の提出が必要です。詳しくは右記にお問い合わせください。	岐阜大学 学芸共通教育講義棟(岐阜市柳戸1-1) 各地域を所管する県事務所 または環境企画課(058-272-1111 内線 2701)
9月28日(土)	連続講座 「野生動物を知る」 (第4回)	●内容: 高山帯におけるカモシカの生態~カモシカ最新研究~ ●講師: 高田隼人氏(山梨県富士山科学研究所 研究員) ●時間: 13:00~15:00 ●参加費: 無料 ●対象: 一般市民 行政職員 関係者等 ●事前申込期限: 2019年9月26日(木) ●当日参加も可能ですが、資料をお渡しできないことがあります	岐阜大学応用生物科学部 101 多目的ホール(岐阜市柳戸1-1) 岐阜大学応用生物科学部 附属野生動物管理学研究センター 寄附研究部門「鳥獣管理の教育と普及」 TEL&FAX 058-293-3416 メールアドレス: rcwm@gifu-u.ac.jp URL https://www1.gifu-u.ac.jp/~rcwm/ Facebook http://www.facebook.com/gurcwm/
9月29日(日)、 10月6日(日)、 12月6日(金)、 12月7日(土)	ぎふ木育サポーター 養成講座	岐阜県では、木のおもちゃや遊びをとおして、子どもたちと一緒に楽しい時間を共有していただくためのスキルを習得し、現在、整備を進めている「ぎふ木遊館」等の木育拠点や木育イベント「ボランティアスタッフ」として活動していただける方向けの講座を開催します。 ●日程: ① 9月29日(日)、10月6日(日)の二日間 ② 12月6日(金)、12月7日(土)の二日間 ●時間: 10時から16時まで ●内容: ぎふ木育概論、遊びや学びのワークショップ、木育プログラム体験など ●参加費: 無料	①中部学院大学内子ども支援センター「ラ・ルーラ」 (各務原市那加野田町 30-1 各務原キャンパス1階) ②県立森林文化アカデミー(美濃市曾代 88) 岐阜県恵みの森づくり推進課 TEL 058-272-8821 FAX 058-278-2702 E-mail c11513@pref.gifu.lg.jp
9月30日(月) 締め切り	令和2年用国土緑化・ 育樹運動標語の募集	令和2年用の国土緑化・育樹運動のポスター等で使用する標語を募集しています。	公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 TEL 058-273-7577 FAX 058-273-7547 E-mail gifu-ryokusui@mtj.biglobe.ne.jp
10月1日(火)~ 10月15日(火)	令和2年度 森林文化アカデミー 入学試験(第1回) 願書受付期間	●森と木のエンジニア科(推薦入試)10月26日(土) ●森と木のクリエイター科(入試1)10月27日(日) ●入学願書(学生募集要項)については、ホームページ(https://www.forest.ac.jp/)からダウンロードできます。	森林文化アカデミー(美濃市曾代 88) 森林文化アカデミー TEL 0575-35-2525 FAX 0575-35-2529 E-mail info@forest.ac.jp URL https://www.forest.ac.jp
10月2日(水)	令和元年度ふるさとの 巨樹・名木探訪観察会	県内各地に存在する巨樹や名木を訪ね、樹木にまつわる歴史や保護保存について学び、緑を守り育てる意識を高めるための観察会を開催します。 ●今回の探訪地 1 星宮神社社業林及び美並ふるさと資料館(林業遺産) 2 白山中居神社及び浄安杉、白山文化博物館 ●参加料: 無料 ●事前申し込みが必要です。詳しくは当委員会ホームページをご覧ください。	郡上市美並町・白鳥町 公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 TEL 058-273-7577 FAX 058-273-7547 E-mail gifu-ryokusui@mtj.biglobe.ne.jp
10月5日(土)	岐阜大学70周年記念 シンポジウム 「野生動物管理の 推進を担う地方大学の 取り組み」	●概要: 野生動物管理の体制を大学として構築し、先進的な取り組みを進めている複数の大学の事例を紹介し、この分野の発展ならびに地域社会との連携強化の重要性を共有することを目的に開催します。 ●時間: 13:00~17:30 ●参加費: 無料 ●対象: 教職員、自治体、学生、一般、企業関係者(CPDプログラムへの登録を予定しています) ●事前申込期限: 9月30日(月)(当日参加も可能ですが、配布資料をお渡しできないことがあります) ●定員: 350名	岐阜大学講堂(岐阜市柳戸1-1) 岐阜大学応用生物科学部 附属野生動物管理学研究センター 寄附研究部門「鳥獣管理の教育と普及」 TEL&FAX 058-293-3416 メールアドレス: semrcwm@gifu-u.ac.jp URL https://www1.gifu-u.ac.jp/~rcwm/ Facebook http://www.facebook.com/gurcwm/
10月26日(土)	野生のきのこを知ろう	身近な里山の林において、野生きのこの観察、採取、同定を行います。採取した実物をもとにきのこの生態、利用を解説し、森林生態系の成り立ち、人との関わりについてお話しします。 ●参加費: 100円程度(保険料等実費) ●定員: 20名(先着順) ●申込締め切り: 10月4日(金)	森林文化アカデミー(美濃市曾代 88) 森林文化アカデミー TEL 0575-35-2535 FAX 0575-35-2529 E-mail ac.open.college@gmail.com URL https://www.forest.ac.jp/events/kinoko191026/
11月9日(土)	連続講座 「野生動物を知る」 (第5回)	●内容: 縮小社会におけるサルとの付き合い方 ●講師: 江成広斗氏(山形大学 准教授) ●時間: 10:00~12:00 ●参加費: 無料 ●対象: 一般市民 行政職員 関係者等 ●事前申込期限: 2019年11月7日(木) ●当日参加も可能ですが、資料をお渡しできないことがあります	岐阜大学応用生物科学部 101 多目的ホール(岐阜市柳戸1-1) 岐阜大学応用生物科学部 附属野生動物管理学研究センター 寄附研究部門「鳥獣管理の教育と普及」 TEL&FAX 058-293-3416 メールアドレス: rcwm@gifu-u.ac.jp URL https://www1.gifu-u.ac.jp/~rcwm/ Facebook http://www.facebook.com/gurcwm/
11月16日(土)	狩猟免許試験	狩猟免許取得のための試験を実施します。 ●時間: 9:30~17:00 ●申込: 10月18日(金)~11月1日(金) ※事前に申請書類等の提出が必要です。詳しくは右記にお問い合わせください。	飛騨高山高校 山田キャンパス(岐阜県高山市山田町 711) 各地域を所管する県事務所 または環境企画課(058-272-1111 内線 2701)
12月13日(金)	狩猟免許試験	狩猟免許取得のための試験を実施します。 ●時間: 9:30~17:00 ●申込: 11月15日(金)~11月29日(金) ※事前に申請書類等の提出が必要です。詳しくは右記にお問い合わせください。	恵那総合庁舎大会議室(恵那市長島町正家後田 1067-71) 各地域を所管する県事務所 または環境企画課(058-272-1111 内線 2701)

18	市況	17	林業者向けお知らせ	17	伐採作業をされるみなさまへ	16	白国国立公園の登山道を「地道に」工事中	16	保安林における制限	14	普及コーナー 市町村林務担当職員研修 〜森林経営管理制度の適正な運用に向けて〜	13	研究コーナー コンテナ苗による下刈り軽減を考える	12	治山・林道研究課題	11	岐阜県の森林下層植生調査への協力	10	国有林の現場から(35) ニホンジカの生息実態を探れ!	9	山のおしゃまむし(338)	8	地域の人 自伐林家を実践する林業経営者	7	恵那市立おさしま二葉こども園	6	木の香るぎふの施設(78)	5	シリーズ「森林・環境税」で緑豊かな清流の国ぎふづくり(5)	4	わがまちの森林・環境行政(33) 川辺町の森林づくり	3	森の人を活かす知恵(80) 気軽に楽しめる苔玉盆栽	2	山のお歳時記(69) サンショウ	3	イベントカレンダー(一般向け) 「第44回東海地区みどりの少年団サマージャンボリー」を開催しました	3	生活環境保全林の安全な利用のために
----	----	----	-----------	----	---------------	----	---------------------	----	-----------	----	---	----	-----------------------------	----	-----------	----	------------------	----	--------------------------------	---	---------------	---	---------------------	---	----------------	---	---------------	---	-------------------------------	---	-------------------------------	---	------------------------------	---	---------------------	---	--	---	-------------------

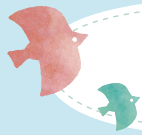
岐阜県の森林・林業 News of the forest

森もりのたより

No.792 9
2019 September



表紙 ● ローラー滑り台、バーベキューテラス・コテージなどの多彩な施設で楽しんでいただけます。



生活環境保全林の安全な利用のために



岐阜県には、治山事業で整備した生活環境保全林が32箇所あります。生活環境保全林とは、市街地の周辺にある保安林の機能を多目的かつ高度に発揮させるため、治山ダム工や森林の整備、花木の植栽等を行い、保健休養や自然観察の場として整備した森林で、多くの県民の方々に利用されています。

しかし、開園後、長く利用されてきた施設は、老朽化が進んだものも増えてきたため、県では岐阜県集落環境保全整備事業により、管理者である市町村が行う施設の改修を支援しています。

ご紹介する「陶史の森」では、この事業を活用し、土岐市が平成30年度に遊歩道の橋の修繕工事を行い安全性の向上を図りました。森林内には「志野の道」、「織部の道」、「黄瀬戸の道」などの焼き物の名をつけた遊歩道が整備され、散歩を楽しんでいただけます。また、「土岐いきものふれあいの里」にはウサギ・ヒツジなどを飼育している「動物舎」や、ギフトチョウを飼育している「蝶の館」などが設置されています。

岐阜県では、今後もより多くの県民の皆様が生活環境保全林を安全に利用していただくため、集落環境保全整備事業の積極的な活用を推進して参ります。



【治山課 加藤 里実】 ●詳しい内容を知りたい方は TEL058-272-1111 内線(3167)治山課まで

「第44回東海地区みどりの少年団サマージャンボリー」を開催しました

8月7日から9日にかけて、東海三県のみどりの少年団員95名が一堂に集い、「第44回東海地区みどりの少年団（隊）サマージャンボリー」（国土緑化推進機構、三菱UFJ環境財団、愛知県・三重県・岐阜県の各緑化推進委員会主催）を三重県熊野市「三重県立熊野少年自然の家」で開催しました。熊野市での開催は初めてなので、みんなワクワクしながら向かいました。

- 一日目（8月7日）
開会式、班旗づくり、飯盒炊さん（カレーライス作り）、天体観測体験
- 二日目（8月8日）
関所めぐり（ウォークラリー）、那智黒磨き、クップ体験、キャンプファイヤー
- 三日目（8月9日）
記念写真撮影、思い出の寄せ書き、閉会式

三日間の短い期間でしたが、みどりの少年団のみんなは、初めは緊張していましたが、すぐに仲良くなり、力を合わせて夕食を作ったり、初めて行うクップのゲームなどを楽しんだりして、団員同士の絆と交流も深まり、夏休みの良い体験になったと思います。

岐阜県からは、ぎふまち、海津市、北方小学校みどりの少年団の3団45名が参加しました。引率者・カウンセラー・県の職員、熊野少年自然の家、愛知県・三重県の緑化推進委員会など関係の皆様には大変お世話になりました。来年は岐阜県郡上市で開催する予定です、多くのみどりの少年団の皆様参加を期待しています。



みどりの少年団勢ぞろい

集合写真



土星が見えたね

天体観測



頂上でヤッホー!

ウォークラリー



よーし、倒すぞ!

クップ



火の御子たちが点火

キャンプファイヤー

【公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 専務理事 黒崎 隆司】



文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

サンショウの実が熟す9月、七味唐辛子用に収穫する様子がニューズで流れていました。

葉味にする果実は10月まで放置すると、赤褐色になった果皮から黒い種子がはじけ飛んでしまいません。

サンショウ (*Zanthoxylum piperitum*) は古くから辛いものを表す「椒」の字があてられ、「山の辛味」という意味で「山椒」と記されます。学名の小種名 *piperitum* は「コンショウ

ウのような」という意味で、英名も Japanese pepper です。

サンショウは雌雄異株の落葉低木で、幹が太くなると樹皮にコルク質のイボ状の突起が出始めます。枝には褐色の鋭い棘が対生し、葉は奇数羽状複葉が互生します。5月頃に雌株に咲く花は「花山椒」として食用に、7月頃までに収穫される雌株の未熟な実は佃煮に利用されます。葉は料理のツマとして、魚を煮る時には臭味消しとして利用され、果皮は粉末にして薬味や七味唐辛子の材料に、また糠床（ぬかどこ）などにも利用されています。

中国のカホクザンショウ (*Zanthoxylum bungeanum*) の果実は「花椒（ほあじゃお）」と呼ばれ、日本のものより辛味や麻痺成分が多く、麻婆豆腐などに利用されています。また、韓国に唐辛子が伝来する17世紀以前、高麗王朝が朝鮮半島を統治した時代の漬物（キムチの原形）には、ニンニク

クやミカンの皮と一緒にサンショウが葉味として用いられていました。

古事記には「垣下に植しハジカミ、口ひひく」と記されており、このハジカミとはサンショウやショウガを指しています。「ハジ」とは9月以降に果皮が赤く熟すと、果皮がはじけて中から黒い種子が出て「はぜる」様子を表しており、「カミ」とはニラの古名「カミラ」を指し、サンショウの辛味をニラに例えたものとされます。

アイヌ民族はサンショウを「サイソ」と呼び、内皮を煎じて痔に塗布し、果実や果皮の煎汁を健胃や整腸に飲用し、果皮の煎汁をかぶれやあかぎれ、水虫に塗布し、生の葉をもんで虫刺されに用いました。

果実は漢方で「花椒、蜀椒」と称して健胃や鎮痛、駆虫に用い、日本薬局方に収載されている苦味チンキや正月に飲むお屠蘇の材料としても有名です。主な辛味成分

はサンシヨオールとサンシヨアマド、他にゲラニオールなどの芳香精油、ジペンテン、シトラールなどで、体を温める効能があります。

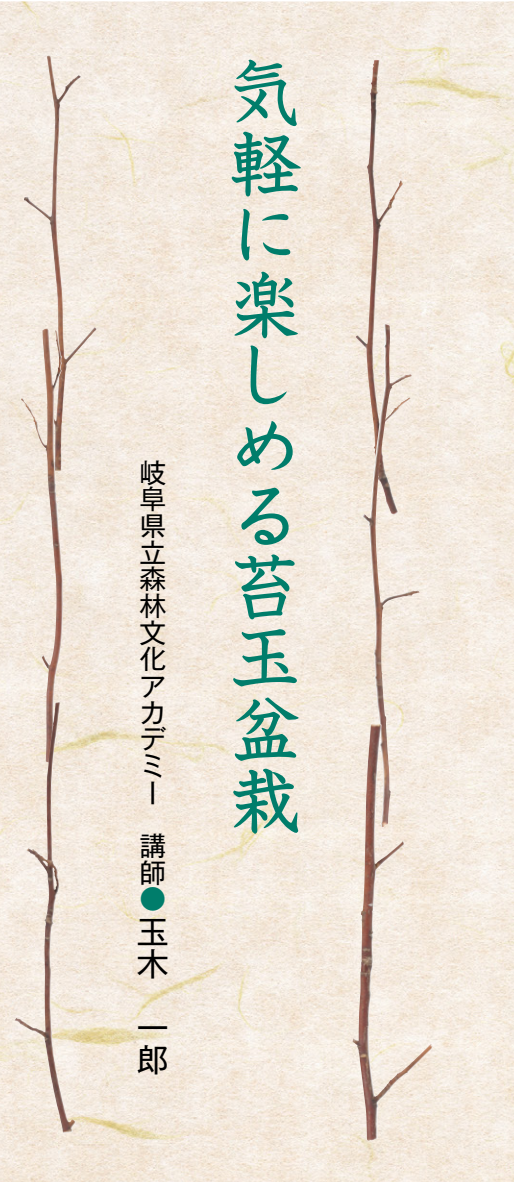
栽培品種としては刺が無く、果実が大きく、香りが良く、種子が容易に果皮と分離する兵庫県養父市の「朝倉サンシヨウ」や、江戸時代に幕府に献上されたことでも知られる静岡県「林香寺サンシヨウ」、果実が房状になる和歌山県有田町の「ブドウサンシヨウ」が有名です。



▲サンショウの果実（赤い果皮と黒い種子）

気軽に楽しめる苔玉盆栽

岐阜県立森林文化アカデミー 講師 ● 玉木 一郎



でも、それなりの状態を維持することができます。

作るのも簡単です。まずは苗を用意します。10〜30cmくらいの大きさのもので十分です。苗は樹木に限らず、多年生の草本でも良いです。数ヶ月ほど、ポリポットで養生しておく、地下部が充実して土をつかむので、作りやすくなります。次に用土を準備します。基本となる土はホームセンターで売っている赤玉土で良いのですが、山の土でもかまいません。

これに水とケト土を少し加えて、手で軽く団子状になるくらいにします(ケト土は粒子の細かい土で代用できます。田んぼの土や水たまりの底の泥でもOKです)。用土で根の全体をくるむようにして、形を整えます。最後に、大きめのコケをかぶせて、黒い木綿糸を適当に巻き付けて固定すれば完成です。コケはハイゴケが扱いやすいです。山の日当たりの良い少し湿った斜面で見つかります(苗やコケ、土などを採取してくる場合は、必ず所有者の許可を得てください)。

過去には、アカデミーの生涯学習や授業で、子供達や学生さん、ドイツからの留学生にも苔玉を作ってもらったことがあります。どうです、簡単そうでしょう？夏の暑さが一段落したら是非トライしてみてください。楽しいですよ。

はできないものなのでしょうか？
盆栽のジャンルの一つに苔玉盆栽があります(写真2)。



写真2 作って3年ほどになるイロハモミジの苔玉

苔玉盆栽は鉢の代わりにコケで根本の土をくるんだものです。普通の盆栽の場合、枝ぶりが基本からずれていると気になってしまうものなのですが、苔玉盆栽の場合は、なぜか枝ぶりが盆栽の基本にそれほど当てはまっていなくても、コケの雰囲気が良いためか、簡単にそれっぽい雰囲気を出すことができます。最も手間のかかる水やりに関しては、少し水を張ったトレイにドブ浸けしておくだけ



写真1 枝がほぼない状態から作って9年のトショウ(ネズミサシ;左)と実生から作って10年ほどのケヤキ(右)。それぞれ樹高12cmと13cm

盆栽というと、一昔前は「サザエさん」に出てくる波平さんのような年配の男性がするような趣味という位置づけだったと思います。しかし、現在では、老若男女を問わず、更には海外までもと、裾野の広がりを見せています。お正月のTV番組「芸能人格付けチェック」でも、ワインや牛肉と並んで、価値の高い盆栽の見分けが扱われています(余談ですが、ここで扱われている価値の高い盆栽は、超一流のもので、完璧なまでに基本を追求した形となっています。ですので、ちょっと基本を勉強すれば、偽物の盆栽と見分けることは簡単です)。私もベランダで小品盆栽を始めて10年以上になりました。枯らしてしまったり数知れずありますが、初期の頃から作っている樹のいくつかは、今では立派な樹形になっています(写真1)。

盆栽が一般にも広がりを見せていることは確かですが、盆栽の扱いが簡単になったかという点、そうではありません。盆栽を育てていると、毎日の水やりに始まり、芽摘みや整枝、剪定、植え替え、病虫害対策など、山程の手間がかかります。では、盆栽を、もっと気軽に楽しむこと

川辺町の森林づくり

川辺町の森林づくり施策を紹介します。



川辺町は、岐阜県の中南部に位置し、町域の約7割を山林が占める自然豊かな町です。町の中央を流れる飛騨川は、水流が穏やかで全国屈指の漕艇場(ボート競技場)になっており、マリンスポーツやゴルフなどアウトレジャーを楽しむのに絶好の環境です。

川辺町の森林づくり

川辺町には、比較的標高が低く軽登山に適した山が数多くあります。近年は、清流の国ぎふ森林・環境税を財源に、住民協働で登山道などを整備する「山づくり」を進めています。

●愛宕山(通称:米田富士)

富士山のように裾野が美しい山で、山頂には米田城址が残り、米田富士と山川橋とボートの風景は本町のシンボルになっています。

平成28年度に、木製階段と案内看板、丸太ベンチを設置したほか、下刈りや枯損木の処理を実施したことで、



米田富士

荒廃していた登山道が生まれ変わりました。

●鬼飛山

桃太郎伝説が残る山で鬼たちが桃太郎に退治され、飛ぶように山に帰ったと言い伝えられています。

平成29年度に、木製階段と案内看板、丸太ベンチを設置したことで、その伝説が改めて注目される事になりました。

●大谷山

四国八十八ヶ所の模写霊場として、山腹に88体のお地藏さんが飾られ、一体ずつお参りをしながら登る登山者が見受けられます。

平成29年度に、山裾の大谷公園の法面に木製階段を設置したほか、コナラの植樹や芝桜の植栽を行い景観が良くなりました。

●遠見山

山頂に遠見城址が残り、眼下には飛騨川の両岸に開けた下麻生地区の町並みを眺められるとともに、下から見ると絶壁の岩山で荘厳な景観になっています。



遠見山

平成30年度に、地域住民の手で木製階段と案内看板を設置したことがメディアで紹介されたことにより、新たな登山者の増加に繋がっています。また本年度は、遠見山の麓にある南天の滝を整備することで、周辺地域一体がより魅力的な地域になります。

●八坂山

山頂に八坂城址が残り、遠く御嶽山や名古屋のビル群まで遠望でき、眼下には川辺の町並みが広がっているため日の出の観賞スポットとして人気の山です。

普段から地域のボランティア団体々ふるさと愛好会により登山道の整備が進められてきており、本年度は山頂に休憩施設を整備する計画を進めています。

町内の小中学校では、このように整備された山々に登りその歴史などを学ぶ故郷学習の時間を設けています。



故郷学習

林業専用道の整備

地域の林業施業を活性化させるため、森林施業に直結する林業専用道の整備を進めています。これにより、伐採期を迎えた人工林の搬出間伐を推進できるようになりました。



林業専用道

竹の破碎事業

近年、市街地の竹林が放置され、有害鳥獣の住処になるなどの問題が発生しています。そのため、竹の伐採を進めるとともに破碎をして、竹チップにする試みを進めています。

竹チップはその場に敷き詰めることにより除草効果があり、吹きつけ舗装などの環境に優しい素材としても注目されています。



竹の破碎

今後の山づくり

まだまだ手つかずの山林が多い本町では、まずは山や森に興味を持ってもらうことから始めています。今後も木の温もりを感じ、自然環境の大切さを感じていただける「山づくり」を推進して行きます。



山づくり

【川辺町役場 産業環境課 市原和也】

●詳しい内容を知りたい方は

TEL0574-5312511(代)

川辺町役場産業環境課まで

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

5

平成24年度より県民みんなで豊かな自然環境を守る仕組みとして導入した「清流の国ぎふ森林・環境税」は、平成33年度末まで5年間延長されました。税活用事業の内容も見直しをしましたので、新しい内容の事業を含め連載で紹介いたします。

木の香る快適な公共施設等整備事業

岐阜県産材を用いて、教育・福祉関連施設等を木造化または内装木質化する場合に支援を行う事業です。

【令和元年度 事業概要】

(1) 事業区分

- 木造化：建築物の主要構造材に木材を使用すること
- 内装木質化：主要構造が木造以外の建築物の内装に木材を使用すること

(2) 対象事業者：市町村、学校法人、社会福祉法人等

(3) 対象施設：教育関連施設（幼稚園、小中学校、高等学校等）
福祉関連施設（保育園、認定こども園、特別養護老人ホーム等）

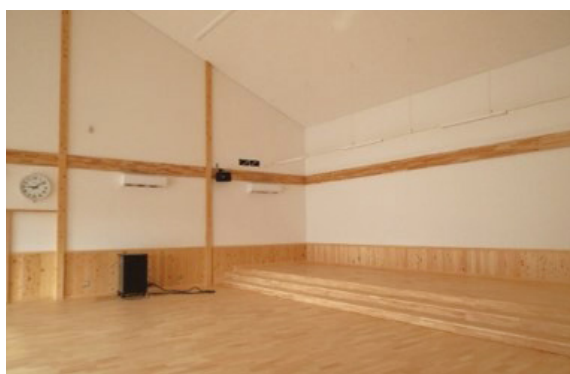
(4) 補助金額：木造化…17,000円/㎡、内装木質化…10,000円/㎡



【令和元年度 支援予定団体】

事業主体	施設名称	所在地	事業区分
岐阜市	岐阜市立長良小学校	岐阜市	内装木質化
(社福) 岐阜羽島ボランティア協会	(仮称) GH坂丸西・GH坂丸東	羽島市	木造化
(社福) ぶなの木福祉会	(仮称) ともいきの里・東弥	郡上市	木造化
(社福) 共生	共生の森	土岐市	内装木質化
中津川市	(仮称) 坂本こども園	中津川市	木造化
(社福) 高山社会福祉会	本母保育園	高山市	内装木質化

【平成30年度 施工事例】



池田町立片山保育園(池田町)



瑞浪市立瑞浪北中学校(瑞浪市)

【利用者の声】

- あたたかみがあると好評
- 落ち着いて生活できる
- 木の香りがよい
- 施設内が明るく感じる
- あたたかく柔らかい雰囲気であり、木のぬくもりを感じ、優しい穏やかな気持ちになれる

【県産材流通課】 ●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線(3016) 県産材流通課販路拡大係まで

恵那市立おさしま二葉こども園

恵那市長島町永田441番地1



施設全景

施設概要

事業年度	平成29年度・平成30年度
事業主体	恵那市
構造・延床面積	木造 2,274.28㎡ (補助対象2,231.22㎡)
施設用途	保育所型認定こども園
木材使用量 使用樹種	621.4㎡ (うち県産材使用量 535.9㎡) スギ・ヒノキ
建築工事費	797,318千円
助成額	30,000千円 (木の香る快適な公共施設等整備事業)
設計者	株式会社 青島設計
施工業者	大井・恵中特定建設工事共同企業体
工期	平成29年6月29日～平成30年10月31日



3歳以上児保育室

施設の経緯

おさしま二葉こども園は、近年の保育ニーズに対応するため、幼児教育・保育の充実を図ること、また、課題である老朽化した既存こども園の保育環境の整備を行うことを主な目的として建設しました。

園児たちが安全かつ穏やかで落ち着いた気持ちで過ごせるように、園内の見通しが良い園舎の配置とし、恵那の自然、山、川などと調和する外観としました。

園舎の構造は、岐阜県の「木の香る快適な公共施設等整備事業費補助金」を受けて、岐阜県産材をふんだんに使用した木造平屋建てとしました。明るく心地よい園舎で園児たちがのびのびと育つことを期待しています。



3歳未満児保育室

ここに注目!!

岐阜県の補助を受けて、3歳以上の園児が利用する机、椅子も、木製のものを使用しています。柔らかな雰囲気保育室になっています。

利用者の様子

園児たちは新しい園舎で、木のやさしさやぬくもりを感じながら毎日楽しく、元気に生活しています。

■問い合わせ先

恵那市教育委員会事務局幼児教育課

TEL 0573-26-2111



寺澤 俊二さん

自伐林家を实践する 林業経営者

林業家

寺澤 俊二さん

平成25年度全国林業経営推奨行事において、林野庁長官賞を受賞された恵那市明智町の寺澤俊二さんをご紹介します。受賞後も継続して自伐林家を实践し、地域活動にも積極的に取り組んでいます。

Q 日々の業務内容は？

現在は林業6に対して農業4の割合で年間を通じて従事している。親の代から引き継いだ田、畑（ナス）、山林を仕事の場としている。林業は道づくりから間伐、材の搬出まで自分でやっている。



自ら開設した森林作業道
(H29年度開設)

Q 林業を始めたきっかけは？

若い頃から山が好きで、父親の仕事をよく手伝った。就職してからも土日、休日をを利用して造林から保育、所有林の手入れをしてきた。定年退職から本格的に農林業に従事している。

父親から引き継いだ所有林を息子に良い状態で渡したい、そういう気持ちでいる。

Q 木の駅プロジェクトの実施状況は？

地元で取り組んでいる「やまおか木の駅プロジェクト」では、実行委員会の副委員長を務めている。

どこの地域でもそうだが、当初は競うように出材量が増えるが、人力による搬出作業ではすぐに頭打ちになる。自分道を作り、小型運材車（やまびこ）を使用しているのが最も出材量が多い（H30実績は寺澤さんの260mに対し、全体で813m）。

Q 自伐型事業を活用した感想は？

日頃から林業が「生業」となるように、と願っているが、なかなか難しい。この県単事業は大変有難く、創設と同時に活用し、平成29年度は保育間伐、昨年度からは搬出間伐に取り組んでいる。良い制度なので木の駅プロジェクトの間にもPRした。毎年、補助申請などの書類作成は苦労しているが、関係者に助けていただきながらなんとか実施している。



寺澤さん（事前調査中）

Q えなの森林づくり推進委員会に参加して感じることは？

委員会設立当初から林業団体（林業経営者協会）の代表として参加している。林業は、「伐って、（材を）出して、植える」ことが基本であると考えている。今はそれを普通に行うことができている。今はそれを普通に行うことができないことが残念だが、本委員会には、恵那市の川上から川下までの委員が揃っている。国内、国際的な市場動向なども踏まえて、地域の課題とその対策を話し合えると良い。

また、新たな森林経営管理制度、森林環境譲与税の用途にも関心があり、期待もしている。

Q 今後の林業経営は？

これからの林業は、路網の整備と機械化抜きには語れず、施業を集約化して、効率よく

素材生産を行うことが主流である。そこで、恵那森林組合の施業プランナーからの施業提案を受け、所有林の一部（ヒノキ60年生、約1.2ha）について、集約化に参画することを検討している。

前回の間伐では、引っぱりだこ（簡易ウインチ）を駆使して、なんとか自分で搬出したが、今回、材は太く重なり、自分は歳をとって、自伐、搬出は困難と考えていた。そんな時、タイミングよく昔から懇意にしている施業プランナーから森林経営計画策定の説明を受けた。特に自力による上げ荷集材には限界があり、森林組合への委託を考えている。

一方、自分でできる施業は続けていきたい。木の駅プロジェクトも所有者が森林に関心を持ち、地域を元気にする取り組みなので、各地で継続することを願っている。

Q 今後の抱負は？

今後は、約20haの所有林を後継者である同居の長男に引き継ぐことになる。自分は歳を取ったが、幸いなことに休日には、長男が搬出作業などを手伝ってくれるようになった。徐々に小型機械の操作などを教えているところである。

その長男は「親父のようににはできないぞ」が口癖ではあるが、定年退職後はそれなりに家業として引き継いでくれると思っている。



支障木を用いて架橋

【恵那農林事務所
林業普及指導員

大重隆太郎】

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0573-126-1111 内線(305)

恵那農林事務所まで



山のおじまむし



『ゾウムシ大好き養老孟司、ヒゲボソゾウムシ』【第338回】

自然学総合研究所 野平 照雄 ● Teruo Nohira

養老孟司（ようろうたけし）。東大卒の医学博士で解剖学の権威。テレビや新聞でよく報道されるので名前は知っていた。しかし、私とは住む世界が違うので、無縁の人。気にも掛けなかった。ところが、そうではなかった。趣味が昆虫採集だと知ったからである。私と同じではないか。急に身近な人に思えてきた。どんな人なのだろう。気むすかしい人ではないか。どんな虫が好きなのだろう。しかし、一方では超多忙な人なので虫採りなどには行けるはずがない。ただ昆虫が好きだけなのだろう。こんなことを思っているとき、某テレビが昆虫に熱中する養老孟司博士（以下、博士）の姿を放映した。驚いた。ただの虫好き人間ではなかった。箱根に博物館のような昆虫館を建て、ここで研究をされているスケールの大きな昆虫マニアだったからである。テレビはその様子を次々と紹介した。

× × × ×

昆虫館は大きな建物であった。壁には整然と並ぶ昆虫標本箱。その数、何百いや数千箱かも知れない。とにかく多かった。どの標本箱にも昆虫が入っていた。大型で綺麗な蝶や頑強なクワガタムシやカミキリムシ、1cmに満たない小さなものまで多種多様であった。これが個人の昆虫標本室。一瞬、目を疑った。採集用具もたくさんあった。大きさの違う捕虫網、これを着ける竿。中には20mもあるような長い竿があった。外国の樹木は高いので、これくらいの長さが必要だとのこと。それにしてもこの竿を高齢の博士が振り回すのだから、すごい体力だと思った。その他にもいろいろな採集用具がたくさんあった。博士の採集に対する執念が伝わってきた。隣の部屋は研究室。ここも、すごい。画像が映し出される顕微鏡や写真撮影装置などの近代兵器?がたくさんあり、この兵器を使って昆虫を調べて標本を作っているという。これだったら、視力の悪化している私の目でも、よく見えるとうらやましくなった。昆虫館の裏山には森林があり、その周辺は草木が繁茂していた。博士はここを散策しながら昆虫を観察し、時々トラップを仕掛けて採集をしているという。この徹底ぶり。すごいと思った。博士が好きなのは甲虫類。中でも好きなのはゾウムシだと言われた。ゾウムシが好き。私と同じだ。さらに身近な人に思え、嬉しくなった。いつか博士にお会いし、ゾウムシの話聞きたくした。

× × × ×

そのチャンスが訪れた。5月に名古屋市で博士の講演会が開催されたのである。会場は超満員。しかもその半数は婦人や子供たち。昆虫マニア以外の人を引き寄せる博士。やはりすごい

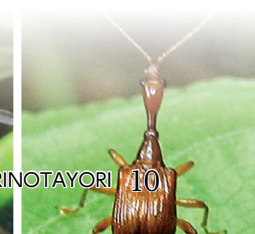
人だ。講演前に虫友達のI氏と博士を訪ねた。「どうぞ、どうぞ」といって笑顔で対応。気さくな方だった。博士が好きなのはヒゲボソゾウムシの仲間。外見は同じに見えても地域によって微妙に違い、何種類もいること。それに、たくさんいる所と全く生息していない場所、つまり分布の空白地帯があることだという。それで、今は各地へ出かけ調べていると言われた。この底知れぬパワー。やはりすごい人だ。そして最後に博士は言われた「珍しいゾウムシを採ったときの感激。最高ですね」。このひとことでより身近な人となった。「採った!」と私と同じように感激している博士が目に見えんできた。わすかであったが、大変有意義な時間であった。



▲ヒゲボソゾウムシの一種

× × × ×

講演が始まった。演題は「昆虫採集を通して培う豊かな昆虫人生」であった。まず博士は「私は4歳から虫が好きになり、今でも追いかけています。まあ、むし馬鹿ですね」。この言葉から始まった。皆は爆笑。和らいだ雰囲気になった。この日は子供連れの婦人が多かったから、よく知られている虫の話から始められた。語りかけるような話しぶりが、皆を引きつけた。拍手と笑いの連続であった。途中で退席する人はいなかった。時々、博士は質問を受けて、それに答えられた。これが面白かった。その中の一つ。ある婦人が「息子が虫採りに夢中で、勉強をしないので困っています。どうしたら嫌いになるでしょうか」。「それはあなたが馬鹿。頭の中を改革しなさい」と博士。またある婦人は「うちの息子を昆虫学者にしたいのですが、どのような勉強をさせればよいのでしょうか」。「あなたも馬鹿。親が口を出すべきではない。息子が自分で決める」。こうした類のものが多かった。どれも物足りない回答のように思えたが、博士の人徳なのか皆は納得。やはり博士はすごい。また、博士は「虫好き人間で悪の道へ走ったものはいない。だから虫採りはさせてください」と言われた。そう言えば私も聞いたことがない。何故だ。ふと思った。これは虫の魔力だ。しかし、さてよ。虫マニアは欲しい虫があると相手をベテンにかけて手に入れるし、逆にだまし取られることもある。これが横行している。そうすると虫マニアは詐欺師の集団だ。と変なことを思い笑えてきた。会場では博士の話が続いていた。

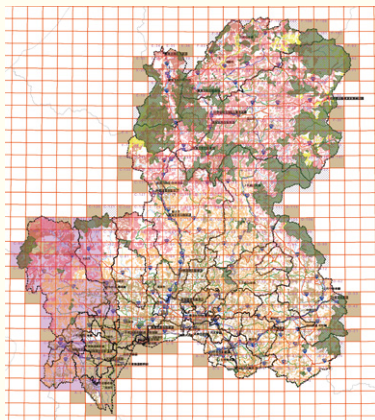


「二ホンジカの生息実態を探れ！」 岐阜県の森林下層植生調査への協力」

二ホンジカによる農林業への被害は、シカの生息範囲の広域化、捕獲事業者の減少を背景として、より深刻化を増しています。国有林においても、伐採跡地や造林されたばかりの幼齢造林地などは二ホンジカが集まりやすく、植栽された苗木への被害の広がりや主伐・再造林への大きな障害となっています。

ところで、野生鳥獣の保護と管理等について定める「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」を所管する岐阜県では、捕獲・被害防除・生息環境管理等の各種対策を推進することによる農作物被害額の低減を目指し「第二種特定鳥獣管理計画（以下、「特定計画」）が策定されています。この特定計画が目指す二ホンジカの科学的管理や総合的管理を行うためには、適切に対象動物の個体群や被害、生息地の状況をモニタリングする必要があるとされています。

そこで、岐阜県においては、兵庫県立大学の藤木大介先生により開発された「森林下層植生衰退度ランク (Shrub-layer decline rank : SDR) 調査」が、民有林と国有林との協力、連携のもとで行われています。



▲SDR調査地点の設定 (5×5km メッシュ)

「SDR調査」は、森林施業や生育条件に影響を受けにくい落葉広葉樹の森林内を調査対象にして実施します。下層植生の衰退の程度を森林生態系の衰退の簡易な指標として用い、また、チェックシートを利用した簡

易な目視調査を採用することで、広域かつ多地点の調査を、少ない労務で行えるという長所があります。

●今回の調査

これまでに、平成26、28年度の2回、調査が行われており、今回の調査で3回目となります。岐阜県全体では、約380地点（メッシュ）もの調査箇所がありますが、そのうち約70地点が国有林に含まれていることから、岐阜、飛騨、東濃の県内3森林管理署が調査に全面的に協力をしていきます。



▲(参考) SDR : D1の国有林 (高山市清見町)

●調査の難しさ

「SDR調査」は、前述のとおり簡易な目視調査ではありますが、それ故に、実際に調査を行う森林官にとつ

ては判断に迷う場合もあり得ます。そのため、調査にあたっては、事前に県から、いわゆる「目あわせ」のために現地説明をお願いし、森林官毎で調査の結果に差が生じないように配慮もしています。また、目視調査ではあるものの、『ササの被度、低木の被度、シカの痕跡の有無等を（総合的に）確認してランクを決めるため、ランクの（見本の）写真は参考程度にしてほしい』といったご指導もいただいています。

●最後に

二ホンジカ食害防除対策には決定打といえるものがないのが現状ですが、今後も、民国の関係者が知恵を出し合い、地域一体となった二ホンジカ対策を推進していくことが重要だと考えます。そういった意味でも、今回の調査は、民国が「丸」となった二ホンジカ食害防除対策のための、重要な取り組みの一つであると考えています。

参考文献・岐阜大学附属野生動物管理理学研究センター作成「森林下層植生衰退度ランク調査マニュアル」

(岐阜森林管理署)

治山・林道研究課題

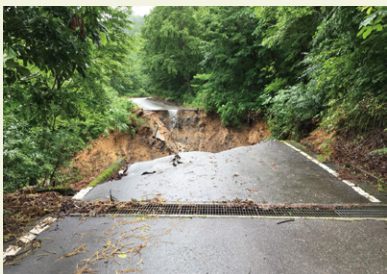
治山、林道の各研究会では、日頃の業務で直面する課題について、調査・研究を行っています。今年2月に行われた発表会で発表された研究課題を紹介します。

平成30年7月豪雨における林道被災状況及び過去の災害との比較・検証

飛騨農林事務所林業課 徳川 隆之

平成30年7月豪雨の概要

昨年6月末から7月初めにかけて、梅雨前線の影響による豪雨のため、西日本を中心に大災害が発生しました。岐阜県においても、県内に36あるアメダスの観測地点の内、16の地点で72時間の雨量が観測史上1位、3地点では累積雨量が1000ミリを超えるなど記録的な雨量となり、各地で土砂崩れや河川の氾濫が相次ぎ、大きな被害が発生しました。



被災直後の林道(飛騨市内)

市村	路線数		被災箇所数	査定延長(m)	査定事業費(千円)
	全数	被災路線			
高山市	275	31	44	1,104	217,659
飛騨市	115	19	39	1,365	260,307
白川村	14	1	1	10	1,829
計	404	51	84	2,479	479,795

H30年7月豪雨 飛騨農林事務所管内林道被災状況

飛騨農林事務所管内の2市1村の林道の被災状況は左の表のとおりです。

過去の災害との比較・検証(繰り返し被災している路線、箇所がある)

管内では平成26年8月、平成16年10月にも台風などによる豪雨で大きな災害がありました。今回の災害とこれら2つの大災害で被災した箇所の位置図を重ね合わせ比較したところ、今回被災した51路線の内、26年災で被災した路線が12、16年災で被災した路線が13ありました。さらに、同じ箇所でも被災したケースが、26年災で3箇所、16年災で5箇所ありました。

繰り返し被災している箇所について分析すると、河川の氾濫や山腹崩壊による被災といった大規模な箇所は少なく、標準的な工法で復旧可能な箇所がほとんどであることがわかりました。こういった繰り返し被災は、何らかの対策により未然に防ぐ、あるいは規模を低減できると考えられます。

被災箇所を対策ランク別に分類し対策を検討

そこで、被災箇所を次の3つの対策ランク別に分類することで、対策の検討に役立てることができないか考えました。

- Aランク：災害復旧事業で対策可能
- Bランク：林道事業で対策可能
- Cランク：林道事業で対策困難

【Aランク】例えば過去に被災した路側構造物の袖部が被災するようなケースです。これは、過去に被災した際の復旧時に申請した延長が真に必要な延長より短かったためと推測されます。

災害発生から限られた時間の中でも設計書を十分精査すること、また職員の技術の研鑽が必要です。

【Bランク】原形復旧を基本とする災害復旧事業において、再度被災を防ぐための対策までを申請するのが困難なため、通常時の改良事業などで対策するのが相応とみなされるケースです。

公共・県単事業の計画策定を行う際、路線選定の参考とします。

【Cランク】河川沿いの林道で、河川の増水により路側構造物が被災するようなケースです。線形を見直すなど根本的な対策を講じる必要があります。

費用対効果から林道の必要性を含めての検討が考えられます。



●詳しい内容を知りたい方は
TEL 0577-33-1111 内線(494)

飛騨農林事務所林業課まで

コンテナ苗による下刈り軽減を考える

森林研究所 ● 渡邊 仁志

再造林を低コストかつ確実に実施するため、「初期成長に優れた」コンテナ苗に期待が寄せられています。しかし、全国一斉調査の結果、現在のコンテナ苗には、裸苗に比べ初期成長の優位性がないことが明らかになってきました。当所では育苗時の培土に混入する肥料（元肥）を工夫して苗木の品質を向上させる研究に取り組んできました。ここでは、効力の長い肥料を元肥に用いたヒノキ実生コンテナ苗による、成長促進と下刈り期間短縮の効果について報告します。

元肥を工夫した苗木の成長

育苗時の一年間と植栽後の一年間効力がある肥料を元肥にした培土で、ヒノキの一年生稚苗を育成し、二年生コンテナ苗を試作しました。これを下呂市内の皆伐跡地に植栽

して比較したところ、植栽一〜二年目のコンテナ苗の樹高成長量は、裸苗よりも高い水準でした（図1）。これは根鉢に残留した元肥の効果によるものであると考えられます。その結果、コンテナ苗の樹高は、植栽から三年後には約三三cm、四年後には約四〇cm、裸苗を上回っており、かつ両苗間の樹高差は小さくなりました。

下刈り期間への影響

植栽当年から下刈りを四年間行った結果、この造林地の主な雑草木はススキ（平均草丈一六〇cm）と落葉低木のトサミズキ（平均樹高一五〇cm）になりました。五年目夏期に雑草木との競合状態を調査すると、被圧された苗木は、コンテナ苗区（平均樹高二五七cm）、裸苗区（同二一九cm）ともほとんどありません

でした。このことから、五年目の下刈りは両区とも必要ないと判断できます。

雑草木の構成（種類や量）が五年目と同じだったとして、四年目の状態を推定しました。裸苗区（平均樹高一五四cm）では、雑草木に被圧された苗木が六五%に達していた（図2a）ことから、四年目の下刈りは必要だったと考えられます。一方、コンテナ苗区（平均樹高一八七cm）では、被圧された苗木の割合が低く（図2a）、それを被圧している雑草木に高木性種がほとんどなかった（図2b）ため、四年目の下刈りを省略できた可能性があります。

つまり、この造林地では、元肥を工夫したヒノキ・コンテナ苗によって、下刈り期間を一年間短くすることができた可能性があります。

今後は、育苗時における更に効果の高い施肥条件を検討する必要があります。また、雑草木の構成により苗木への影響が違ってきます。雑草木のタイプ分類と、それに合わせた下刈りスケジュールの検討が必要で

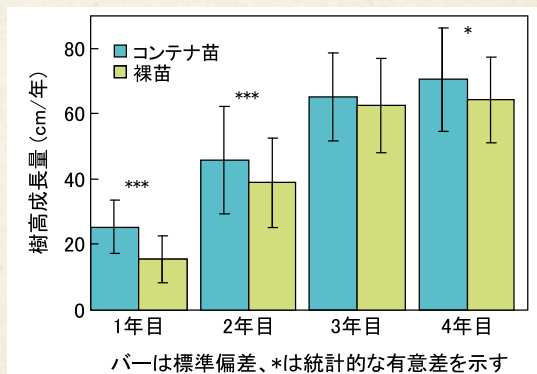
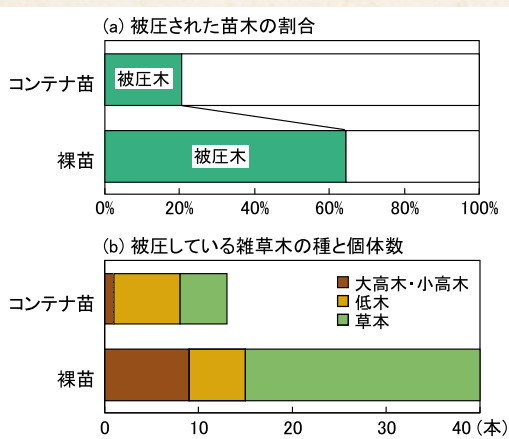


図1 苗種別の年樹高成長量(↑上)

図2 苗木と雑草木の競合状態(a)および雑草木の構成(b) (←左)

詳しい内容を知りたい方は
TEL 0575-331-2585

森林研究所まで

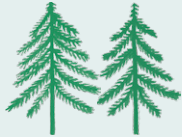


市町村林務担当職員研修

～森林経営管理制度の適正な運用に向けて～

■岐阜県立森林文化アカデミー森林技術開発・支援センター

林業普及指導員 下野 俊彦



森林経営管理法

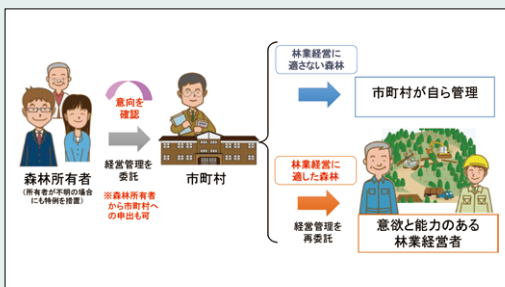
平成31年4月1日に森林経営管理法が施行され、地域の森林管理に対する市町村の責務が明確になりました。併せて、今年度から『森林環境譲与税』の譲与が始まり、市町村が「森林の適正な経営管理」を行うための財源として活用できるようになりました。

森林経営管理制度

〔概要〕

森林経営管理制度における市町村の役割は、長期間（10年以上）、森林経営が行われていない森林について、
 ①森林所有者の委託等を受けて、市町村自身が経営管理を行う

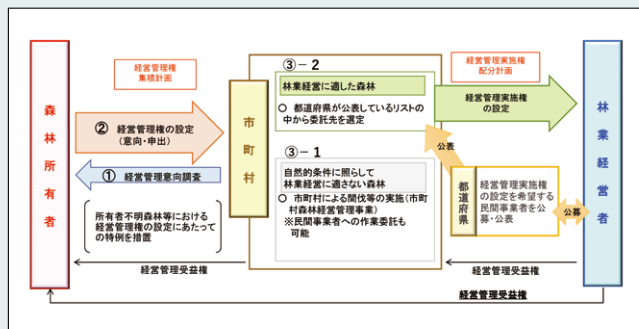
②市町村が「意欲と能力のある林業経営者」に対して再委託を行うものです。（図-1）



▲図-1 市町村の役割

〔手続き〕

森林経営管理制度を運用するための流れは次のとおりです。（図-2）



▲図-2 森林経営管理制度の概要

市町村林務担当職員研修

市町村が、森林経営管理制度を適正に運用することができるように、県では、6月から森林経営管理制度実務者を対象とした研修会を開催しています。

- ①森林所有者の意向調査等の実施
- ②意向調査等に基づく経営管理権の設定
- ③市町村による森林経営管理（直営・再委託）の実施

これまでの開催内容は次のとおりです。

〔第1回・第2回〕

6月5日、6日に林野庁森林利用課 中山課長補佐、室木係長を招いて、研修会を開催しました。

初日は、「森林経営管理制度及び森林環境税・森林環境譲与税」「森林経営管理制度に係る事務（基本編）」について講義がありました。

2日目は、「意向調査実施区域のエリア分け」「意向調査を実施する森林の具体的検討」「経営管理権集積計画の作成の検討」について演習を行いました。

〔第3回〕

7月12日に「意向調査実施を想定した課題整理」「中津川市の取組事例の紹介」「法律の専門家からみた所有者探索」について研修を行いました。



▲写真1 ワークショップ

①意向調査実施を想定した課題整理

参加した27市町村が4つのグループに分かれ、「意向調査実施を想定した課題整理」についてワークショップを行いました。

ワークショップでは、活発に意見交換が行われ、次のような意見が出されました。

意向調査を行うエリアの決定

(ア)地籍調査が完了しているエリアからモデル的に実施する。

(イ)航空写真・公図・森林計画図を活用し、区域を選定する。

(ウ)人家・国道など保全対象から近く、「災害防止地域」を優先的に進める。

(エ)相続など課題がある地域については、慎重に進める。

(オ)よくわからないなかで取り組むと問題が起きるので、しっかりと情報を整理したうえで意向調査に取り組む。

意向調査の結果

(ア)「市町村に貫ってほしい」と返ってきたら、対応できない。

(イ)意向調査実施後、境界確定を誰にお願いしたらよいか分からない。

その他

(ア)方針ややり方を決める専任者が欲しい。

(イ)どのようにしたら外部からの支援を受けられるのかが分からない。

ワークショップ終了後、市町村が森林経営管理制度にどのように向かっていくのか について研修を行いました。

②林地台帳整備・分析から見えた森林所有者の現状

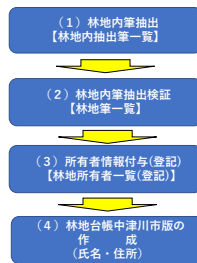
中津川市林業振興課 内木統括主幹からは、平成30年度に意向調査の事前準備(図1-3)として取り組んだ「林地台帳の林小班の地番整理」のなかで、次のような場合があり、所有者確認には課題があることについて報告されました。

- 登記上は「原野」など「山林」以外の地目となっていることがある。
- 登記情報がない地番が存在する。
- 1筆に二つの地目が存在している。
- 登記情報だけでは、相続手続が行われていない場合や、分譲地等があり、真の所有者にたどり着くことは難しい。



▲写真2 中津川市の取組紹介

- (1) 森林計画図(林班図)と地番参考図を重ね合わせ、林小班にかかる筆を抽出して【林地内抽出筆一覧】を作成
- (2) 【林地内抽出筆一覧】において、地番の抽出間違い又は漏れ等がないか精査し、【林地筆一覧】を作成
- (3) 【林地筆一覧】の所在地番が一致する登記簿情報の所有者情報(氏名・住所)を付与し、【林地所有者一覧(登記)】を作成
- (4) 林地台帳(中津川市版)の作成



▲【図-3】意向調査事前準備取組フロー図

③森林経営管理法を実践する際の留意点

点々デスクワークでできる所有者確認作業から、森林経営管理法に詳しい品川弁護士から、「森林経営管理法」を運用していくときに注意すべきことについて講義がありました。

最初に、意向調査を行うにあたり、面倒でも、真の森林所有者を探ることが非常に重要であり、所有者探索をやらなかった場合のリスクについて、弁護士の視点から説明がありました。

続いて、所有者探索(相続人探索を含む)を行う際の手順やテクニックについて、実際の事例をもとに順を

追って説明がありました。さらに、「所有者不明」の意味及び法的に責任を問われない探し方についてもアドバイスをいただきました。



▲写真3 品川弁護士講義写真

今後の研修内容

市町村が森林経営管理制度を運用していくにあたり、林業の専門分野で活躍している「岐阜県地域森林監理士」の紹介、法律上の課題に直面したとき、内容によってどのような士業(弁護士などの有資格者)に相談すればよいのか などについて研修を行います。

最後に一言

森林経営管理制度が適正に運用できるように、林業普及指導員が支援を行ってまいりますので、ご相談をしてください。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-13512035 内線7033

岐阜県立森林文化アカデミーまで

保安林における制限

～立木の伐採の制限～

必ず事前の手続きが必要です

保安林は、森林の機能を維持増進するために、治山事業による森林整備や高率の補助制度が適用されています。

一方、立木の伐採方法や植栽の義務など森林内の作業行為に制限が課せられており、制限内容に応じて税制上の優遇措置がされています。

今回は、立木の伐採の制限について説明します。

伐採の制限について

伐採方法	手続き方法	手続期間	提出先	
禁伐	伐採は禁止	—	—	
主伐	択伐	天然林は許可が必要 人工林は届出が必要	伐採を開始する日の30日前までに申請 伐採を開始する日の90日から20日前までに届出	県農林事務所 県農林事務所
	皆伐	許可が必要	皆伐限度面積の公表の日(年4回)から30日以内に申請	県農林事務所
	間伐	届出が必要	伐採を開始する日の90日から20日前までに届出	市町村

注意事項

- (1) 主伐(択伐・皆伐)は、市町村森林整備計画で定める標準伐期齢に満たない立木は伐採できません。
- (2) 皆伐限度面積の公表の日は、2月1日、6月1日、9月1日、12月1日(土日を除く。)の年4回です。
- (3) 間伐は、樹冠疎密度(林地面積に対する立木の樹冠投影面積との比率)が80%に達していない森林では行うことはできません。

伐採をする場合は、許可又は届出など事前の手続きが必要です。また、皆伐を行う場合は、伐採現場に伐採旗の設置が必要となります。詳細は、各県農林事務所にお問い合わせください。

【治山課 吉田達也】

白山国立公園の登山道を「地道に」工事中

岐阜県から白山に登るには、

- ①郡上市白鳥町の石徹白登山口から登るルート、
- ②白川村の真ん中辺り、白水湖から登る平瀬道、
- ③白山白川郷ホワイトロードから三方岩岳に登る3ルートがあります。

自然公園系ではそれぞれの登山道で工事を行っており、その一部を紹介します。

①石徹白登山道(郡上市白鳥町)

地区の会合に出席し、昨年の台風で倒れて登山道をふさいでいる倒木を除去してほしいと要望があり、倒木除去作業を行いました。また、7月には地域の方々と一緒に外来植物(オオバコ等)除去作業で汗を流しました。登山口から420段の階段を登ると特別天然記念物いとしる大杉、2時間ほど歩くと県管理の神鳩避難小屋があります。



神鳩避難小屋。昨年度に避雷針を修繕

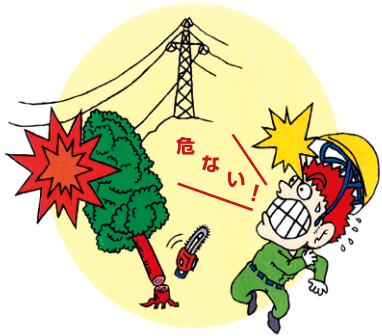
②平瀬道(白川村)

平瀬道(白山大白川線歩道)は昭和63年に岐阜県が整備し、丸太階段の老朽化等のため、平成27年度から改修工事を行っています。改修工事は今年度が最終年度で、大倉山避難小屋(登山口から約2時間半)も一部修繕を予定しています。

③三方岩岳登山道(白山白川郷ホワイトロード)

正式名称は白山北山稜線登山道で、昭和59年に岐阜県が整備し、同じく老朽化等のため、昨年度に調査測量設計を行い、今年度は駐車場から三方岩岳までの登山道の改修工事を行います。人気のある登山道のため工事中は誘導員を立てて通行止めにはせず、三方岩岳の展望場所と山頂の看板は新しいものに付け替えます。こちらは1時間程度の登山ですので、秋の行楽シーズンには白山登山に出かけてみてはいかがでしょうか。

【環境企画課 大島、奥中】 ●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線(2698) 環境企画課自然公園係まで



伐採作業をされるみなさまへ ～電気事故防止のお願い!!～

- ◆送電線は、直接電線に触れなくても感電します。送電線の近くで伐採または集運材索道架設作業等をされる場合は、事前に最寄りの事業所までご連絡ください。
- ◆万が一、送電線の上に倒してしまった場合は、電線に接触している木や、切れた電線には絶対に触らないで、その場から離れて、最寄りの事業所までご連絡ください。
- ◆事故が発生しますと、尊い人命が奪われます。また、停電により多くのお客さまにご迷惑をかけることとなり、起因者に対する補償問題にも発展します。

岐阜県内の送電線を
保守する電力会社

- 中部電力株式会社
- 北陸電力株式会社
- 関西電力株式会社
- 電源開発株式会社

※付近に送電線があることを下記に連絡していただければ、管轄する電力会社にて対応させていただきます。

中部電力の連絡先

事業所名	主な管轄区域	連絡先
岐阜電力センター送電課	岐阜市、羽島市、羽島郡、本巣市、瑞穂市、山県市、美濃市、関市、各務原市、大垣市、安八郡、揖斐郡、不破郡、養老郡、海津市	TEL(058)272-3222
加茂電力センター送電課	美濃加茂市、関市、美濃市、郡上市、加茂郡、可児市、多治見市、恵那市、土岐市、瑞浪市、中津川市、可児郡御嵩町	TEL(0574)28-1504
飛騨電力センター送電課	高山市、下呂市、飛騨市、大野郡白川村、富山県南砺市(一部)	TEL(0576)62-3953

※窓口は月～金曜日(祝日および年末年始除く)の8:30～17:10とさせていただきますので、連絡はお早めをお願いいたします。

森林・林業関係イベントカレンダー(10月)

林業者向け

開催日	行事名等	内容等	開催場所 問い合わせ先
10月2日(水)～ 10月3日(木)	機械集材装置 運転業務特別教育	<ul style="list-style-type: none"> ● 講習時間：2日 8:50～16:00 学科 3日 8:30～17:30 実技 ● 申込：開催日の10日前まで ● 受講料：17,500円(本代含む)(振込み) ● 定員：30名(定員になり次第締め切ります。) 	2日(学科) ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 3日(実技) 美濃市首代地内(予定) 林材業労災防止協会岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
10月10日(木)	刈払機取扱作業 安全衛生教育	<ul style="list-style-type: none"> ● 講習時間：9:20～15:00 学科 15:00～16:30 実技 ● 申込：開催日の10日前まで ● 受講料：11,550円(本代含む)(振込み) ● 定員：30名(定員になり次第締め切ります。) 	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 林材業労災防止協会岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
10月29日(火)～ 10月30日(水)	簡易架線集材等 機械の運転業務 特別教育	<ul style="list-style-type: none"> ● 講習時間：29日 9:00～16:00 学科 30日 8:30～17:30 実技 ● 申込：開催日の20日前まで ● 受講料：48,400円(本代含む)(振込み) ● 定員：30名(定員になり次第締め切ります。学科及び実技一部免除者を含む。実技講習は10名単位の開催となりますので実技受講者が20名以上の場合は翌日になりますのでお問合せ下さい。) 	29日(学科) ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 30日(実技) 中津川市地内山林(予定) 林材業労災防止協会岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195

COLUMN

コラム

この度、新規採用で入庁し、恵みの森づくり推進課に配属されました。この原稿を書いているのは7月なので、社会人になり、早くも4か月目を迎えたこととなります。つい先日、地方公務員採用試験の一次結果が出たと聞き、試験に対する不安な気持ちでいっぱいだったのはもう1年も前のことなのかと、時の流れを感じました。

私の担当は、主に地域活動支援事業の支援と清流の国ぎふ森林・環境税の周知を目的とした県民フォーラムの開催です。まだまだ学ぶことが多いですが、上司の方々にご指導いただきながらなんとか業務をこなせているのではないかなと思います。来年には後輩たちが入ってくることになりますので、1年間で様々な業務に対する取り組み方を学び、教えていただいたことをしっかり自分のものにできるよう、日々精進していきたいと考えています。

「森林のたより」編集委員 長谷川 彩

イベント情報

連載 10月1日発行

- 山の歳時記(170)
- 山のおじゃまむし(339)

森の名手・名人

清流と森と親しむ

- 森林と人を活かす知恵(81)

木と親しむ

- 岐阜県の公共木造建築(79)

清流の国ぎふ森林・環境税

わがまちの森林・環境行政(34)

森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

市況情報 **その他**

10月号 予定

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所

単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	備考
第1701回 岐阜共販所	すぎ	3 m	16~18cm	12,500	—	単価は直材 価格、但し 平均値は並 材二番玉価 格
			16~18cm	11,800	—	
		4 m	20~22cm	13,800	—	
			24~28cm	13,000	17,000	
			30cm以上	11,000	22,500	
	ひのき	3 m	16~18cm	17,500	—	
			20cm以上	13,800	—	
		4 m	16~22cm	18,000	—	
			24~28cm	15,100	—	
			30cm以上	14,500	—	
第1277回 飛騨共販所	すぎ	3 m	16~18cm	12,000	—	
			24~28cm	11,000	—	
		30cm以上	11,000	—		
	ひのき	3 m	16~18cm	17,000	—	
			20~22cm	15,000	—	
		30cm以上	14,000	—		
	まつ	4 m	24~28cm	8,000	—	
			30cm以上	8,000	—	
	ひめこ	4 m	24~28cm	10,000	—	
			30cm以上	10,000	18,000	
5 m		30cm以上	—	—		
第1607回 東濃共販所	すぎ	3 m	16~20cm	12,800	13,400	
			22~28cm	13,000	15,000	
		30cm以上元	13,300	—		
	ひのき	3 m	16~20cm	17,600	29,000	
			22~28cm	15,000	29,000	
			30cm以上元	18,800	26,000	
		4 m	13cm以下	9,000	—	
			22~28cm	16,000	21,200	
			30cm以上元	18,500	45,000	
	まつ	4 m	18~20cm	25,000	—	
22~28cm梁			7,000	—		
くり	4 m	24cm以上	16,500	35,500		
		30cm以上元	9,000	—		

木材市場

【商況】

水上げによる干割れが危惧され、スギ、ヒノキ良材は弱含み。スギ、ヒノキ並材、合板向け、ともに潤沢な在庫を背景に保合。スギは3m柱は継続して需要旺盛。並材販売は納材規格を遵守ください。ヒノキ2m元曲がり合板向け造材が有利。製紙向けパルプ材は大手工場の納材制限が徐々に緩和。(岐阜)

全般的に横ばいで推移。スギ太物欠点材は売りにくい。広葉樹良材は相変わらず応札多い。虫害の時期になり、伐採後速やかに搬出ください。(飛騨)

全般的に横ばいで推移。ヒノキ元木、良材(高齢材及び枝打材など(特殊材))2m、3m、4mには応札多く横ばい。ヒノキ並材は3m、4mとも(16~22cm)横ばい。スギは全般的に品薄、4m元木、良材は応札も多く横ばい、二番玉並材は3m、4mとも(16~28cm)長良川木協・森の合板への安定供給に伴い横ばい。ヒノキ・スギ6m需要減。センコウムシやゴトウムシの発生時期ですので、速やかに出材をお願いします。(東濃)

製品卸売標準価格 (7月期)

(単位:円)

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m ³ 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	65,000	(2,150)	→
	間柱	3000	105	30	1等	65,000	(614)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	65,000	(2,867)	→
		3000	120	120	特等	60,000	(2,592)	→
	柱	3000	120	120	(東濃松)特等	65,000	(2,808)	→
		6000	120	120	特等	120,000	(10,368)	→
W集 ウ成 ド材	柱	3000	105	105	国産5層	61,000	(2,000)	→
		3000	120	120	国産5層	61,000	(2,630)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

外材市況 (7月期)

1㎡当り(価格単価:100円)

樹種	規格	価格	樹種	規格	価格
米松	SSタイプ	306	米栴	へム(アラスカ産)	299
	コースト(目荒)	320	米ひば	ポール	310

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

木材用語一口メモ

機械等級区分

機械により測定した客観的な値で木材の等級を決めること。機械等級区分構造用製材は製材のJAS規格の一つです。曲げ試験機等を用いて行う測定により得られた曲げヤング係数に基づいて、強度の等級区分を行います。

(参考)日刊木材新聞社 木材・建築用語辞典

